

KIKAIYA

TOOLS PRO SHOP KIKAIYA

レギュレーター付エアフィルター3/8

取扱説明書

【品番】 AF03

この度は、KIKAIYA「レギュレーター付エアフィルター3/8」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- * 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく組立て安全にご使用ください。
- * 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(MAIL) info@kikaiya.com

「ご注意」

- 適切な取り扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしていただく為、ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してからご使用ください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を本来の使用用途以外の目的で使わないでください。(本製品の改造はしないでください)
- 安全上の注意や製品仕様などは、予告なく変更される場合があります。
(お客様が購入された製品と、取扱説明書に記載された内容が一部異なる場合がありますのでご了承下さい)

■開封時

商品が届きましたら、ただちに開封し次の項目を確認してください。

- ✓ ご注文商品と仕様に違いがないか。
- ✓ パーツ品等に不足がないか。

万一不具合(パーツ品の欠品、破損、動作不良等)が発見された場合は、すぐに販売店へご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身をご確認ください

(本書記載内容は、改良のため予告なく変更する事があります)

■調査及び修理をご依頼の前に

* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

<目次>

「ご注意」

- ・開封時／調査及び修理につて・・・1
- ・安全上/設置上の注意事項・・・2
- ・使用上の注意事項・・・3

「仕様・各部名称」

- ・製品の仕様・・・ 4
- ・各部の名称・・・ 4

「組立て」

- ・組立て手順・・・5

「使用方法」

- ・圧力調整ダイヤル・・・6
- ・圧力ゲージについて・・・6
- ・ドレン操作について・・・7

「メンテナンス・保管」

- ・メンテナンス点検・・・7

「トラブルシューティング」

- ・トラブルシューティング・・・7

安全上の注意事項

- ◆ **注意事項をよく守り、安全に配慮し操作してください。**
取扱いを誤ると、重大な事故につながります。
- ◆ **本製品は、圧縮空気専用です。**
使用方法を間違えると、重大な事故の原因となります。
- ◆ **圧力ゲージ・エアカプラー類を取付ける場合はシールテープを巻いてください。**
エア漏れの原因となります。
- ◆ **エアホースや配管内を清掃してから本製品に接続してください。**
ゴミや不純物の混入により、本体損傷の原因となります。
- ◆ **本製品は垂直に設置してください。**
斜め、横向き、逆さ向きに設置しないでください。
- ◆ **以下の作業環境下には、設置しないで下さい。ケガや事故の原因となり危険です。**
 - ・雨や雪、風などを遮ることができない場所
 - ・湿った場所や濡れた場所
 - ・火気、可燃性のガス・液体のある場所
 - ・通気が悪く、換気のできない場所
 - ・使用上、障害となる物がある場所
 - ・強度のない壁面

設置上の注意事項

- ◆ **エア配管システムやエアホースへは、確実に接続してください。**
不適切な接続は、外れる可能性があり非常に危険です。
- ◆ **エア配管システムやエアホースからの接続・取り外しは、必ず圧縮空気の圧力を「0」にしてください。**
圧力のある状態では、圧縮空気が逆流し人体や周辺機器に損害を与える可能性があり大変危険です。
- ◆ **使用空気圧力が、1Mpa 以上のエアコンプレッサーには、使用しないでください。**
使用圧力範囲を超えるエアコンプレッサーの使用は、大変危険ですのでやめてください。
- ◆ **結果の予測できない、または確信の持てない取扱いは行わないで下さい。**
ケガ・故障の恐れがあります。
- ◆ **維持管理のために、定期的に各部の点検を行って下さい。**

使用上の注意事項

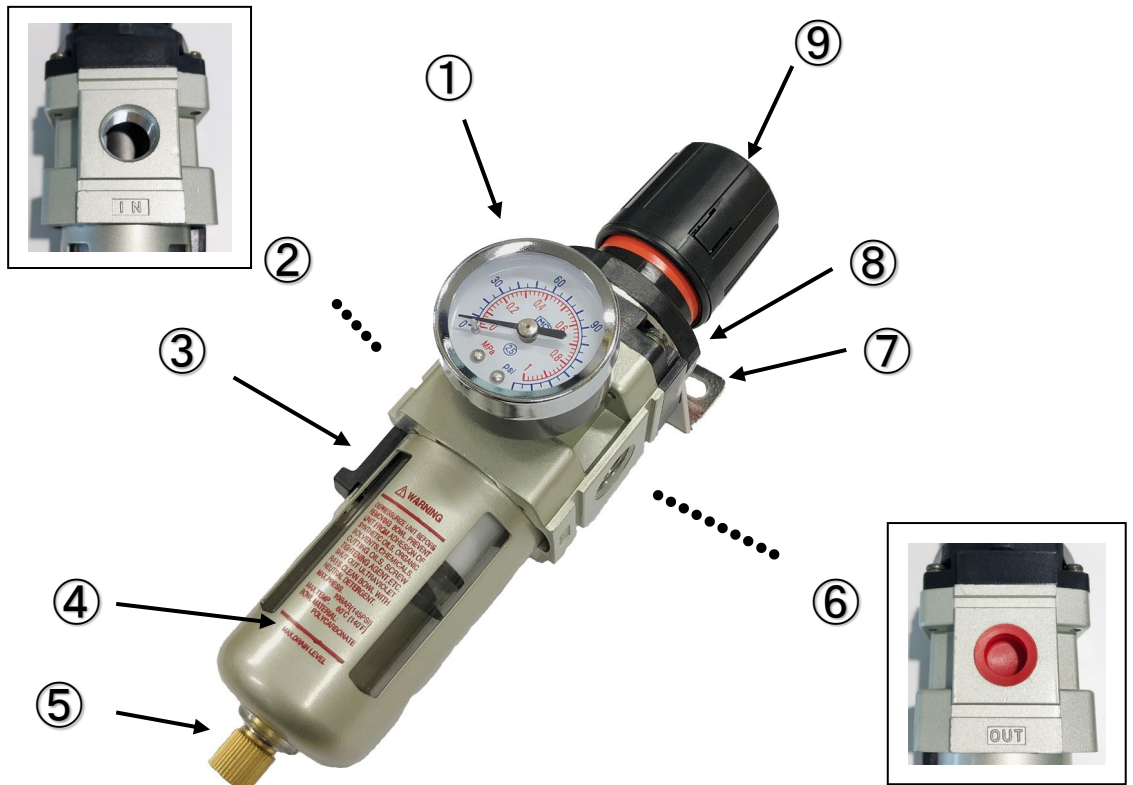
- ◆ 以下の行動は、ケガや重大な事故の原因となり危険です。
 - ・長髪を束ねたりせずに、そのままの状態を使用する。
 - ・ネックレスなどの装身具を着用し使用する。
 - ・サイズの極端に大きい服装(長袖・長ズボン)作業着を着用し使用する。
 - ・無理な姿勢で使用する。
- ◆ 関係者以外は、作業場所に近づけないで下さい。
(特にお子様には十分注意して、絶対に触らせないで下さい)
ケガや事故の恐れがあります。
- ◆ 圧縮空気を、人体や動物に向けないで下さい。
圧縮空気は非常に強く、顔や目を近づけるとケガや事故の原因となり、大変危険です。
- ◆ 圧縮空気には、小さなゴミや不純物が混入しています。
人の呼吸用、ペット水槽の送気用など絶対に人や動物に使用しないでください。
- ◆ 使用圧力範囲は、1Mpaです。
使用圧力範囲を超えての使用は、大変危険ですのでやめて下さい。
- ◆ 圧縮空気の供給中は絶対にドレンを解放させないでください。
圧縮空気と一緒に、勢いよく排出され危険です。
- ◆ ドレンにホースを取付けるときは、必ずホースバンドで固定してください。
ホースだけでは抜ける事があります。
- ◆ 使用中は常に水分量を確認し本体底面の水分限界線より水分が超えないように注意してください。
水分限界線を水分が超えると、内部に水分が侵入し損傷や破損の原因となります。
- ◆ 圧縮空気の流動方向を間違わないでください。
流動方向の「IN」「OUT」の表示に従って接続してください。
- ◆ 身体をアースさせる物に接触させながら使用してください。
感電するおそれがあります。
- ◆ 周辺温度が 60℃以上になる高温な場所、直射日光下では使用しないでください。
製品破損の恐れがあります。
- ◆ 圧縮空気の調整後は、圧力調整ダイヤルを確実にロックしてください。
ロック不良は、調整圧の狂いや、圧力調整不良による事故の原因となります。

「仕様・各部名称」

【仕様】

商品名	レギュレーター付エアフィルター3/8
圧力調整範囲	0.1~1.0Mpa
エア接続口	Rc 3/8
最大圧力	1.0Mpa
試験圧力	1.5Mpa
エア流量	2000L/分
重量	550g(ブラケット抜き)

【各部名称】



- ① 圧カゲージ(メーター)
- ② IN(圧力流動方向)
- ③ ドレンカバー解除レバー
- ④ 水分限界線
- ⑤ ドレン
- ⑥ OUT(圧力流動方向)
- ⑦ 固定金具
- ⑧ ローリングナット
- ⑨ 圧力調整ダイヤル

「組立て」

【 **！重要** ※以下の物は付属しておりません。別途、用意してください。】

- 設置固定用のビス、ボルト・ナット類
- ドレン用のホース、ホース固定用のホースバンド
- エアカップラー類(エアプラグ・エアソケット)
- シールテープ

(製品改良の為、主要機能・及び形状などは予告なく変更する場合がありますのでご了承ください)

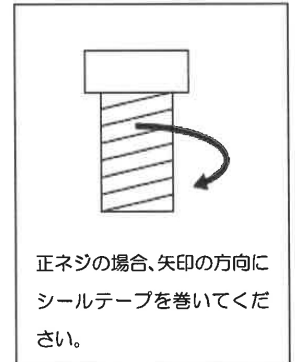
シールテープ

※シールテープの緩みは圧縮空気漏れの原因となります。

※インレットの状況によっては3~5巻いても圧縮空気が漏れる場合があります。

3~5巻き巻いて漏れる場合は、巻き数を増やし、巻き直してください。

(巻きなおす場合は、一度きれいにシールテープを取り除いてから巻いてください)



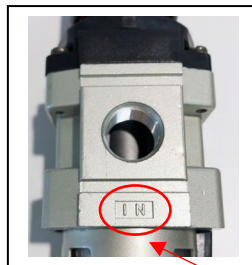
①【組立て手順】

下記手順はあくまで一例です。(設置場所によっては手順が異なりますので以下の内容をよく確認し参照してください)

エアインレット部にエアカップラー類を取付けます。

※必ずシールテープを巻いて取付けて下さい。

※圧縮空気の流動方向を間違えないで下さい。



※「IN/OUT」の表示に沿って金具を取り付ける



➤ メーター/固定金具/エアークラを取り付ける

(エアークラはお客様でご用意ください)

※エアークラサイズ：

(オス 3/8→3分ネジ(外径)16.6mm/ネジ山数 19mm)

➤ 固定金具はローリングナットを緩めて外し取付ける。

※固定金具は、本体が壁面に水平になるよう
ビス/ボルトナットで固定してください

(周囲50cmは、障害物を置かないでください)

「使用方法」

【注意事項】 故障と事故を未然に防ぎ、安全に使用する為以下の点検作業を使用前に必ず実施して下さい。

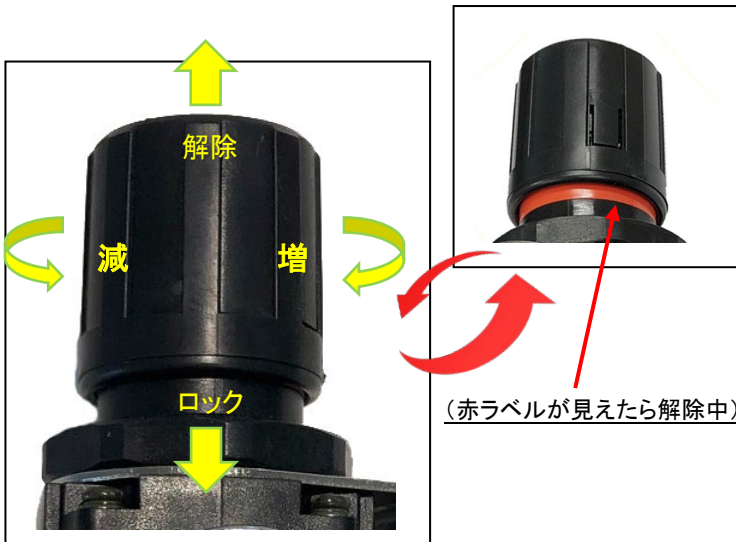
※点検で異常が確認された場合は本製品を使用せず、販売店へご相談ください。

※点検作業は、必ず圧縮空気の供給を止め、圧力を「0」にしてください。

【点検項目】

- ・エア配管システムや、エアホースとの接続状態の点検
- ・圧力ゲージの作動状態の点検
- ・圧力調整ダイヤルの作動状態の点検
- ・各部の損傷、破損状態の点検

【圧力調整ダイヤル】 (圧縮空気圧力を、増減させる事ができます)



➤ 圧力調整ダイヤルを引き上げ、ロックを解除し調整します。

(1) 時計回り方向: 増

(2) 反時計回り方向: 減

※必ず圧力ゲージの数値を確認してください。

※圧力調整後は、圧力調整ダイヤルを押し戻しロックして下さい

【圧力ゲージ】 (圧縮空気圧力を、増減させる事ができます)



➤ 以下の範囲内で圧力を示します。

「Mpa」

・使用圧力範囲: 0～1Mpa

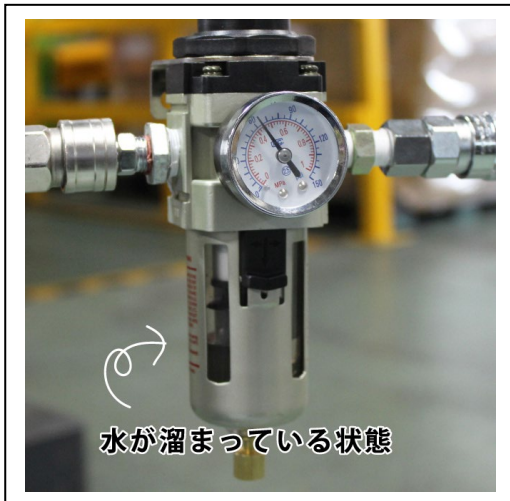
・最小表示: 0.02Mpa

「Psi」

・使用圧力範囲: 0～150Psi

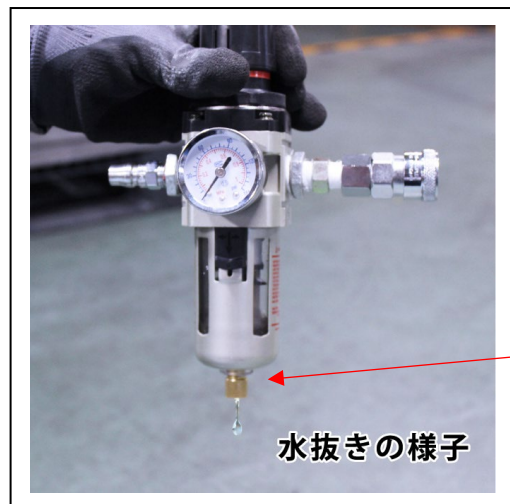
・最小表示: 5Psi

【ドレン】 (ドレンカップ内にたまった水分を排出する)



➤ ドレンカップ内に溜まった水分は手動で排出してください。

※ドレンネジを引っ張ると水分が排出されます。



(ドレンを引くと水分が排出されます)

<組立て方法/ドレン(排出)方法について>

動画でもご説明しています。QRコードより動画をご覧ください！



「メンテナンス」

- ◆ **メンテナンス時/保管時は、必ず圧縮空気の圧力を「0」にしてください。**
圧力のある状態で取外すと圧縮空気が逆流し、人体や周辺機器に損傷を与える可能性があり大変危険です。
- ◆ **本体の汚れは清潔な布で、拭き取ってください。**
清掃に際に溶剤を使用するとプラスチック部分が損傷をうけますので溶剤は使用しないでください。
- ◆ **使用しないときは、施錠のできる場所に保管してください。**
思わぬ事故の原因となります。
- ◆ **カップの取付けは、締め過ぎに注意してください。**
カップが破損する恐れがあります。



「トラブルシューティング」

症状	原因	対策方法
圧力ゲージが動かない 圧力調整ができない	圧縮空気の抵抗方向が逆になっている	接続をやり直し、正しく接続してください
	圧縮空気圧力が「0」になっている	圧縮空気を供給してください
	正しく取付けられていない、または圧縮空気が漏れている	取付けをやり直し、正しく取付けてください
	圧力ゲージの不良	新品の圧力ゲージに交換してください
ドレンが機能しない	圧力調整ダイヤルの不良	販売店へご相談ください
	圧縮空気圧力が「0」になっている	圧縮空気を供給してください
	ドレンの不良	販売店へご相談ください